

スイス・グローバル・リーダー・ファンド スイス・グローバル・リーダー・ファンド(為替ヘッジあり) 追加型投信／海外／株式



NO.1 GLOBAL LEADING COMPANY

SWITZERLAND GLOBAL LEADER FUND

ファンドは特化型運用を行います。

お申込みの際は必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をよくお読みください。

投資信託説明書(交付目論見書)のご提供・お申込みは



あかつき証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第67号
加入協会: 日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

設定・運用は

SOMPOアセットマネジメント

SOMPOアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第351号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

スイスというブランド

ブランド立国スイス

世界中から「ヒト・モノ・カネ」が集まる国

- 世界でもトップクラスの豊かさ、国土の美しさや安全性を兼ね備えた憧れの国であり、経済指標だけでは計りきれない魅力が、スイスにはあります。
- ビジネス・教育・生活等の環境に優れるスイスは、優秀な人材、企業の本社機能や研究機関、マネー等を呼び寄せています。
- その強みを背景に、高級時計、医薬品、金融、観光、教育など、さまざまな分野において強固な「スイスブランド」を確立しています。



出所: (1)WIPO(Global Innovation Index 2025)、(2)IMD(World Talent Ranking 2025)、(3)IMD(World Competitiveness Ranking 2025)

上記ランキングは将来変更となる可能性があります。

スイスの基礎データ

西ヨーロッパの中心に位置するスイスは、国土のうち約7割を「ヨーロッパの屋根」といわれるアルプス山脈とジュラ山脈が占めています。迫力ある名峰や雄大に広がる氷河、のどかな牧草地などはスイスを代表する風景です。



出所: スイス政府観光局

国名: スイス連邦
面積: 約4.1万km²
人口: 904万人(2024年)
首都: ベルン
言語: ドイツ語、フランス語、イタリア語、ロマンシュ語
通貨: スイスフラン
一人当たりGDP: 111,047米ドル(ご参考: 日本 34,713米ドル)
政体: 連邦共和制(20の州(カントン)及び6の準州により構成される)
略史: 1815年欧州列強がウィーン会議で永世中立を承認
1960年EFTA加盟
1973年ECと自由貿易協定締結
2002年国連加盟(190番目の加盟国)

出所: 外務省HP、IMF(World Economic Outlook) 2025年値(IMF予測値)より作成

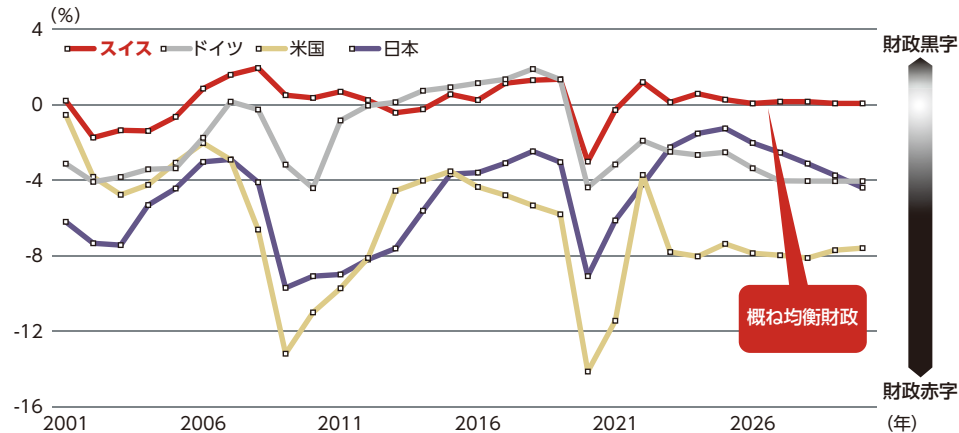
上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

安定した経済状況

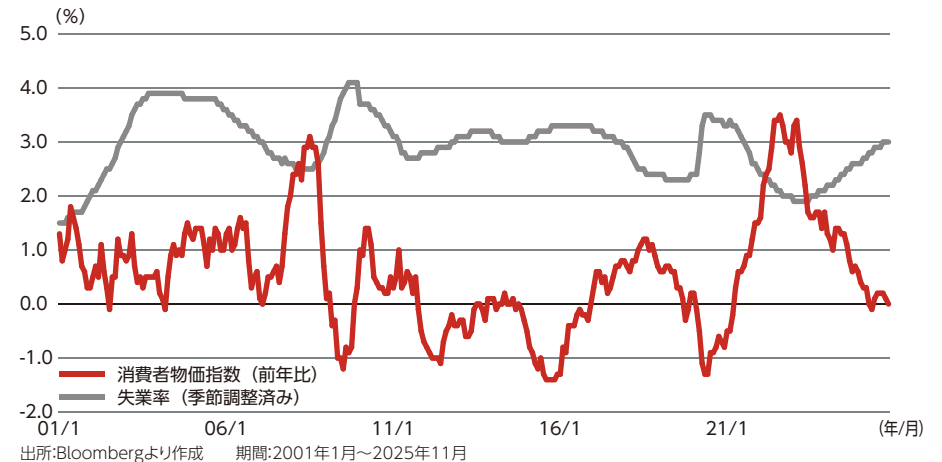
■ スイスの財政収支は概ね均衡しており、政府債務残高(対GDP比)は他国と比較しても低い水準となっています。

■ 失業率、物価は概ね安定しています。また経常黒字国であり、国際社会から高く評価されています。

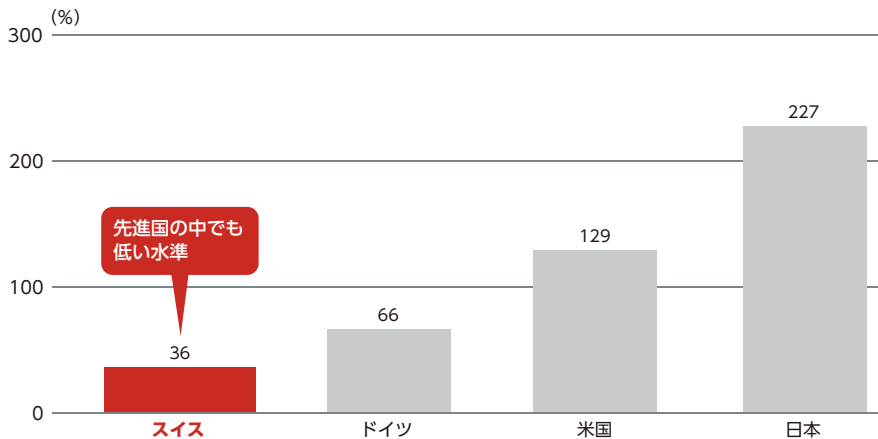
財政収支対GDP比



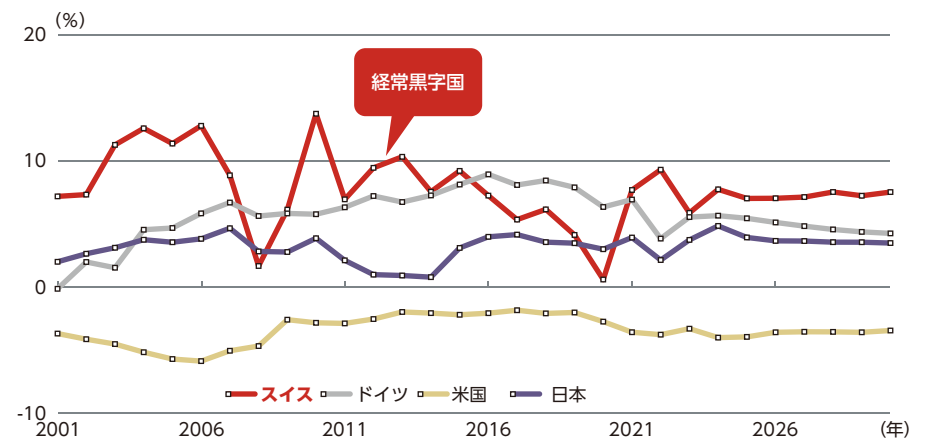
物価と失業率



政府債務残高対GDP比



経常収支対GDP比



財政・経済状況は悪化する可能性があります。
上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

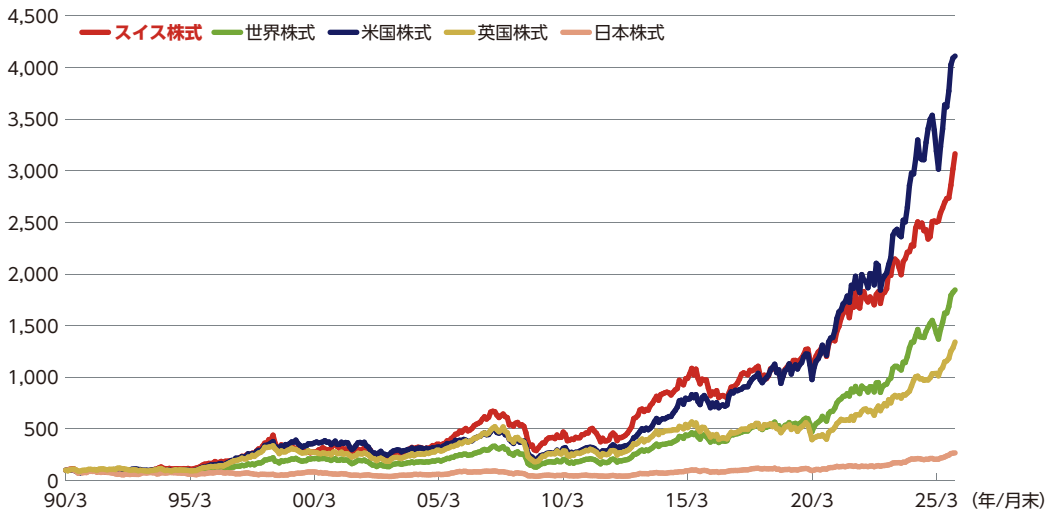
スイス株式市場の概要

■スイス証券取引所にはスイス企業220銘柄が上場しており、約406兆円の時価総額を有しています。*

*2025年12月末現在 1米ドル=156.56円(2025年12月末)にて換算 出所:Bloomberg, SIX Swiss Exchange ウェブサイト

■スイス株式は長期にわたり世界株式や日本株式を上回る結果を残しています。

主要株価指数の推移(円換算ベース)



	スイス株式	世界株式	米国株式	英国株式	日本株式
リターン	10.1%	8.5%	11.0%	7.5%	2.8%
リスク	17.3%	17.4%	18.0%	18.2%	18.2%
リターン/リスク	0.59	0.49	0.61	0.41	0.15

出所:Bloombergより作成

期間:1990年3月末~2025年12月末(1990年3月末=100として指数化)

*スイス株式:スイスパフォーマンス指数、世界株式:MSCI World Index(ドルベース)、米国株式:S&P500指数、英国株式:FTSE100指数、日本株式:TOPIX (各指数はトータルリターンを円換算したベース)

*スイス・パフォーマンス指数の商標は、スイス証券取引所の知的財産(登録商標を含む)です。スイス証券取引所はその使用に関していかなる保証を行うものではなく、一切の責任(過失の有無を問わず)を負うものではありません。

*MSCI World Index(ドルベース)は、MSCIインク(以下「MSCI」といいます。)が開発した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

*S&P500指数とは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表している株価指数で、米国の代表的な株価指数の1つです。市場規模、流動性、業種等を勘案して選ばれたニューヨーク証券取引所等に上場および登録されている500銘柄を時価総額で加重平均し指数化したものです。

*[S&P]は、S&P Globalの一部門であるスタンダード&プアーズ・ファイナンシャル・サービスズLLC(以下[S&P])の登録商標です。これらはS&P ダウ・ジョーンズ・インデックスに対して使用許諾が与えられています。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス、ダウ・ジョーンズ、S&P、その関連会社は、本商品を支持、推奨、販売、販売促進するものではなく、また本商品への投資適合性についていかなる表明をするものではありません。

*FTSE100指数とは、ロンドン証券取引所(LSE)における株価指数で、イギリスの代表的な株価指数です。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

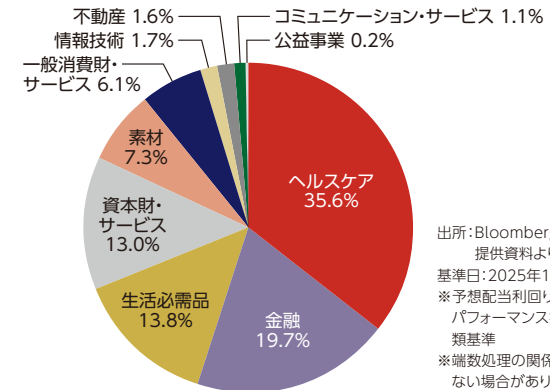
*TOPIX(東証株価指数)とは日本の株式市場を広く網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。記載銘柄の推奨および個別銘柄の売買の推奨を行うものではありません。

予想配当利回り

2.79%

業種別構成



出所: Bloomberg, UBPインベストメンツ 提供資料より作成

基準日: 2025年12月末

*予想配当利回りと業種別構成はスイス・パフォーマンス指数、業種は世界産業分類基準

*端数処理の関係上、合計が100%とならない場合があります。

時価総額上位10銘柄

	銘柄名	業種	時価総額(兆円)
1	ロシュ・ホールディング	ヘルスケア	52.8
2	ノバルティス	ヘルスケア	45.9
3	ネスレ	生活必需品	40.3
4	UBSグループ	金融	24.5
5	ABB	資本財・サービス	21.7
6	フィナンシエール・リシュモン	一般消費財サービス	20.2
7	チューリッヒ・インシュアランス・グループ	金融	17.5
8	ホルシム	素材	8.7
9	スイス再保険	金融	7.9
10	ガルデルマ・グループ	ヘルスケア	7.7

出所:Bloombergより作成

基準日:2025年12月末

*業種は世界産業分類基準

*時価総額は基準日のTTM

(198.40円/スイスフラン)

で円換算したベース

スイスを紐解く二つのキーワード



イノベーションカ



- スイスは数々の発明を通じて、人々の暮らしを豊かにしてきました。
- イノベーションを通じて、新しい市場を創造すると共に世界経済の成長に寄与しています。

スイスが生んだ発明



出所:各種報道、各社HPより作成

写真はイメージです。記載銘柄の推奨および個別銘柄の売買の推奨を行うものではありません。



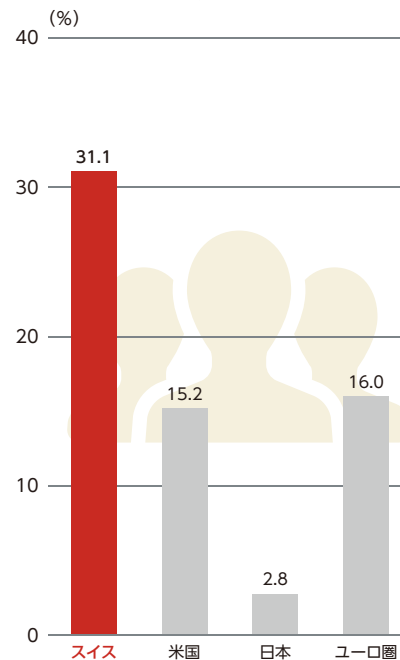
グローバル化



- スイスはヒト・モノ・カネの交流を通じて高度にグローバル化している国といえます。
- 積極的な海外との交流を通じて、世界経済の成長を享受しています。

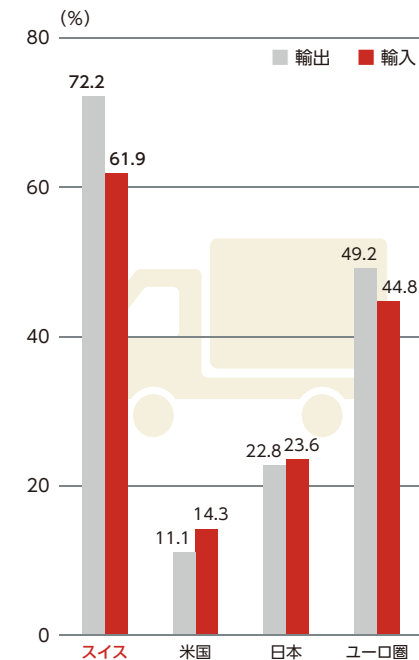
スイスが生んだビジネスの循環

総人口に占める移民の割合 (%)



出所:国連 2024年

輸出・輸入額の対GDP比率 (%)



出所:世界銀行 2024年

上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

キーワード① イノベーション力

世界トップクラスのイノベーション力

- スイスは世界トップクラスと評価されるイノベーション力を通じて世界を牽引しています。
- 世界中のヒト・モノ・カネを惹きつけることで、イノベーションを育む土壌を作り出しています。

イノベーションランキング

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
1	スイス	スイス	スイス	スイス	スイス	スイス	スイス	スイス
2	オランダ	スウェーデン	スウェーデン	スウェーデン	米国	スウェーデン	スウェーデン	スウェーデン
3	スウェーデン	米国	米国	米国	スウェーデン	米国	米国	米国
4	英国	オランダ	英国	英国	英国	英国	シンガポール	韓国
5	シンガポール	英国	オランダ	韓国	オランダ	シンガポール	英国	シンガポール

出所:WIPO「Global Innovation Index」より作成 期間:2018年~2025年

高いイノベーション力を生み出す土壌

- スイスは産官学が密接に連携することで、質の高い人材の輩出や、ハイレベルな研究開発を実現しています。
- 産官学の高度な知識交流を通じて、スイスは高いイノベーション能力を育んでいます。



上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

キーワード① イノベーション力

イノベーションに着目したスイス企業<銘柄紹介>

ロシュ・ホールディング



- 1896年創業の医薬品メーカーで癌腫瘍治療薬分野ではリーディングカンパニーです。2002年には日本の中外製薬も傘下入りしています。
- 既存の医薬品事業強化に加え、近年ではゲノム解析や病理検査など、ライフサイエンス分野の研究における主要な企業の買収を通じて成長を続けています。

時価総額	予想PER (倍)	PBR (倍)
2,663億スイスフラン (約52.8兆円*)	16.7	9.1

2025年12月末
* 1スイスフラン=198.40円(2025年12月末)にて換算

ロシュ・ホールディングのイノベーション

- 1933年 ビタミンCの商品化を開始
サプリメント市場を新たに創造
- 1999年 インフルエンザ治療薬(タミフル)の発売開始
日本では2001年に発売開始、中外製薬が販売



出所:Bloomberg, ロシュ・ホールディングHP、UBPインベストメンツ提供資料より作成



リーディング分野 **癌腫瘍治療薬品**

ジボダン

Givaudan

- 1895年に設立されたジボダンは、主に食品、飲料、生活用品(ヘアケア製品、洗剤)等を製造する企業に、味、香り(フレーバー・フレグランス)を提供しています。
- 同じ商品であっても、消費者に好まれる味、香りは国・地域によって異なります。世界各地に162以上の拠点をもち、国・地域毎に異なる嗜好に合わせた味や香りの製造・開発を行っています。

時価総額	予想PER (倍)	PBR (倍)
290億スイスフラン (約5.8兆円*)	25.4	7.1

2025年12月末
* 1スイスフラン=198.40円(2025年12月末)にて換算

ジボダンのイノベーション

- 1996年 自生の植物と花の香りを取り込むことに成功
- 1998年 コンピュータを使ってリアルタイムに香りの合成物を作る「パーチャル・アロマ・シンセサイザー」を開発
- 2005年 美味しさそのままに、食品と飲料の糖分と塩分、脂質を大幅に減らすことができる画期的な技術を開発



出所:Bloomberg, UBPインベストメンツ提供資料より作成



リーディング分野 **フレーバー・フレグランスの開発・製造**

世界No. 1のリーディングカンパニーとは「ユニオン バンケール プリヴェ ユービーピー エスエー」による調査・分析の結果、特定分野で売上高等がトップシェアを有すると認められる企業を指します。

写真はイメージです。上記内容は組入銘柄の紹介を目的としたものであり、記載銘柄の推奨を行うものではありません。また、上記内容は作成段階で入手しうる情報をもとに作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。当ファンドでは銘柄入替を行うことがあるため、現在の銘柄と異なる場合があります。

キーワード② グローバル化

スイスにグローバル企業が多い理由は？

スイス 恵まれない内需  人口が少ない • 国土が小さい • 資源が乏しい

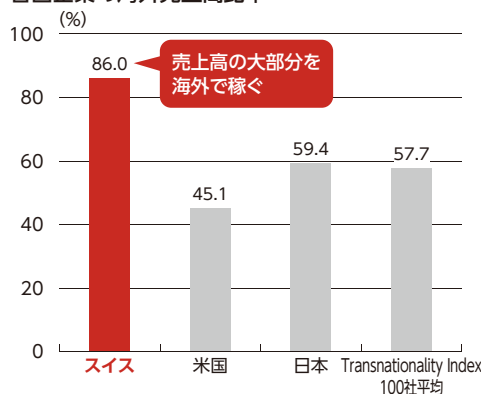
スイス企業は世界へ積極的に進出し、成長の活路を見出す

スイス企業のグローバル化

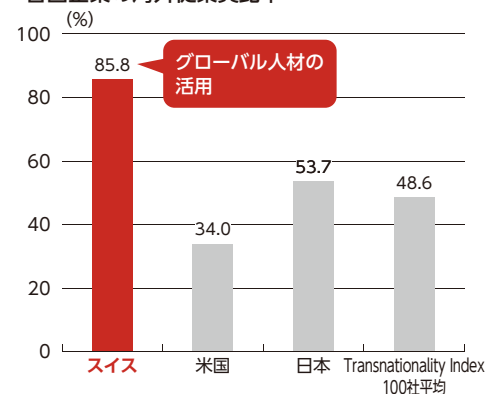
『グローバル先進企業』が揃うスイス

■スイス企業は早い段階で海外に進出しマーケットシェアを拡大してきた結果、海外売上高比率は日米の企業と比較して高水準となっています。

各国企業の海外売上高比率



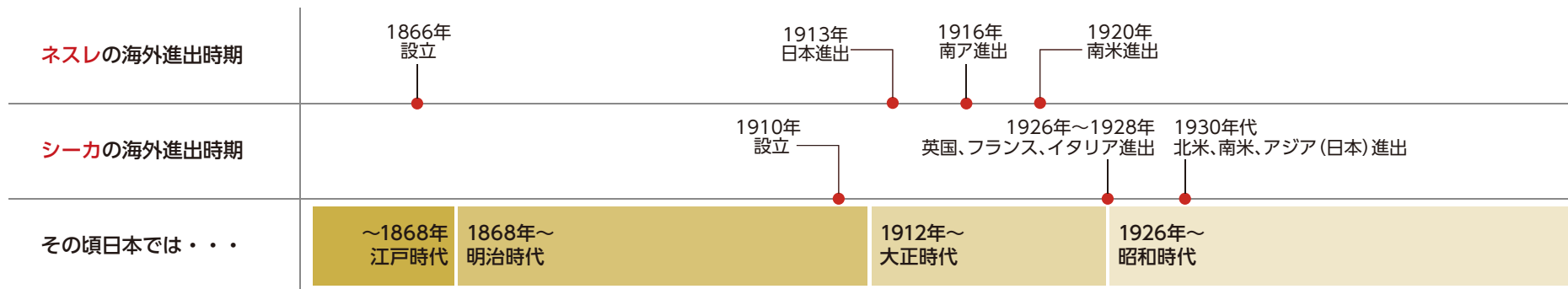
各国企業の海外従業員比率



出所:UNCTAD(World Investment Report 2025) 2024年度
Transnationality Index:多国籍企業のうち、海外資産、海外売上高、海外従業員数の割合が多い企業トップ100(金融機関除く)をランキングしたインデックス。

積極的な海外進出

■新興国にも比較的早い段階で進出しており、新興国市場でも高いマーケットシェアを有しています。



出所:各社HPより

上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
記載銘柄の推奨および個別銘柄の売買の推奨を行うものではありません。

キーワード② グローバル化

グローバルで飛躍するスイス企業<銘柄紹介>

ネスレ



Nestlé
Good Food, Good Life

■ スイス企業で、M&A (合併・買収) を活用したブランド戦略を真っ先に取入れたのは1866年創業のネスレです。

■ コーヒーの『ネスカフェ』、調味料の『マギー』、パスタの『ブイトーニ』、飲料の『ミロ』、お菓子の『キットカット』等、世界的に親しまれているブランドを数多く持ちます。

ネスレの代表的なブランド









時価総額	予想PER (倍)	PBR (倍)
2,029億スイスフラン (約40.3兆円*)	18.4	7.0

ネスレの売上高・地域別売上比率



海外で
バランスよく
稼ぐ

ネスレ売上高:16兆189億円

2025年12月末
* 1スイスフラン=198.40円(2025年12月末)にて換算

出所:Bloomberg, ネスレグループHP, UBPインベストメンツ 提供資料より作成

リーディング分野

食品・飲料

シーカ



■ 1910年にモルタルに混ぜて止水する混合材を開発しました。ダム、高層ビル、風力発電など事業は多岐にわたります。

■ 2021年4月には横浜ゴムの自動車用、建築用シーリング材や接着剤などを手掛けるハマタイト事業の買収を発表しました。

時価総額	予想PER (倍)	PBR (倍)
261億スイスフラン (約5.2兆円*)	22.7	4.2

採用実績

- 1910年代 スイス連邦鉄道等
- 1930年代 阪急電鉄本社ビル等
- 1950年代 黒部ダム、東海道新幹線の橋脚等
- 1960年代 東名高速道路等
- 1970年代 最高裁判所、成田国際空港等
- 1980年代 青函トンネル等
- 2000年代 六本木ヒルズ、東京ミッドタウン等



関西電力黒部ダム



シーカの売上高・地域別売上比率



新興国での
売上比率が
高い

シーカ売上高:2兆627億円

2025年12月末
* 1スイスフラン=198.40円(2025年12月末)にて換算

出所:Bloomberg, シーカグループHP, UBPインベストメンツ 提供資料より作成

リーディング分野

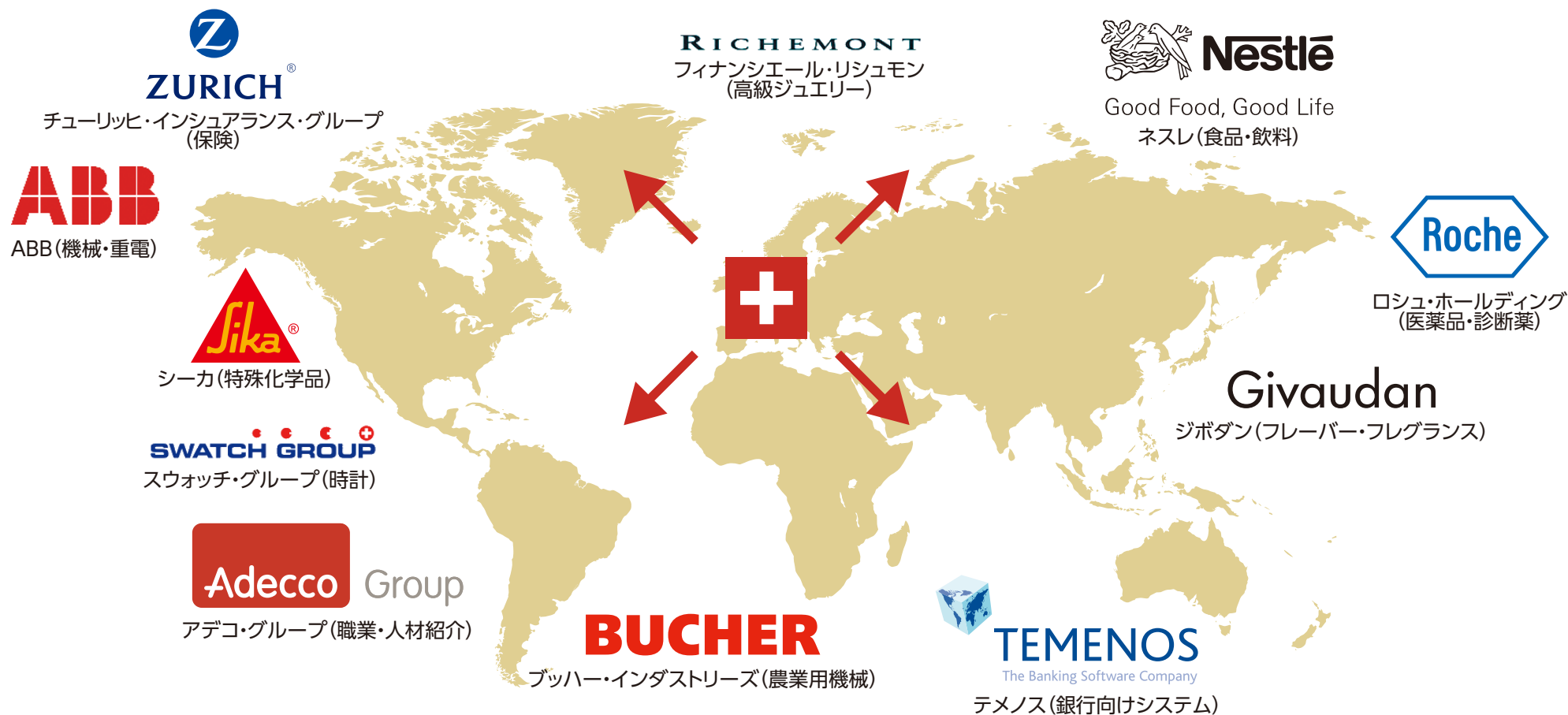
建設用化学品

世界No. 1のリーディングカンパニーとは「ユニオン パンケール プリヴェ ユービーピー エスエー」による調査・分析の結果、特定分野で売上等がトップシェアを有すると認められる企業を指します。

写真はイメージです。上記内容は組入銘柄の紹介を目的としたものであり、記載銘柄の推奨を行うものではありません。また、上記内容は作成段階で入手しうる情報をもとに作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。当ファンドでは銘柄入替を行うことがあるため、現在の銘柄と異なる場合があります。

高い競争力を生み出すスイスの企業戦略

小さな国土から世界へ進出



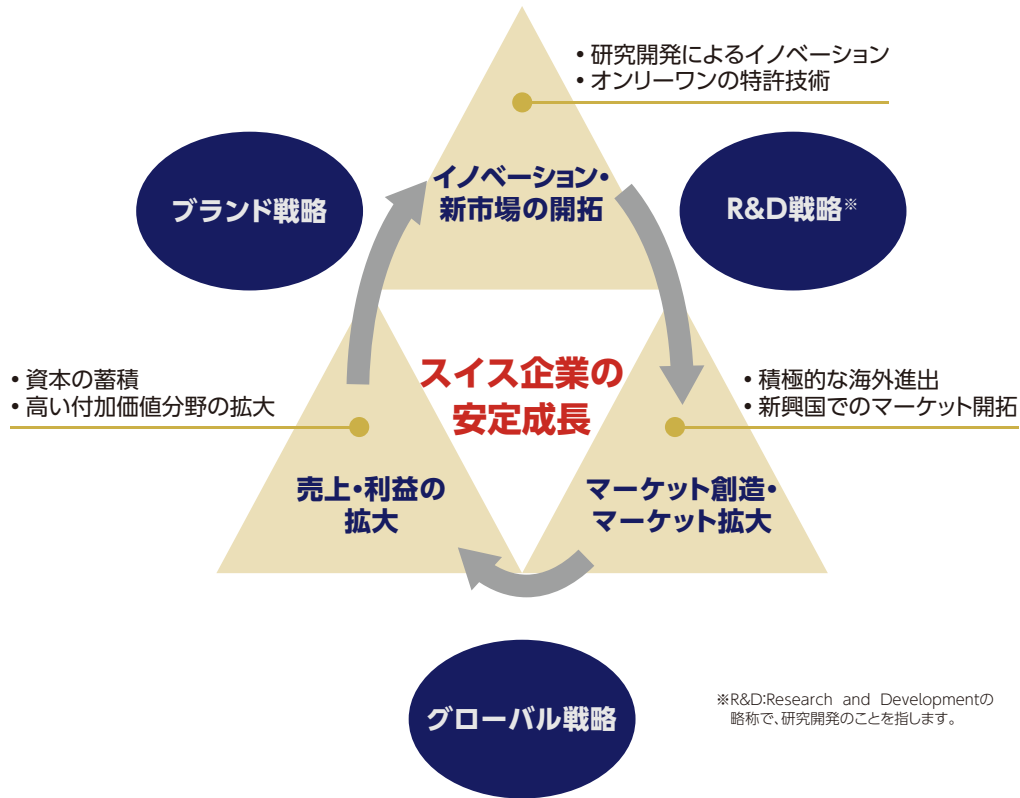
出所:UBPインベストメンツ提供資料より作成

記載銘柄の推奨および個別銘柄の売買の推奨を行うものではありません。

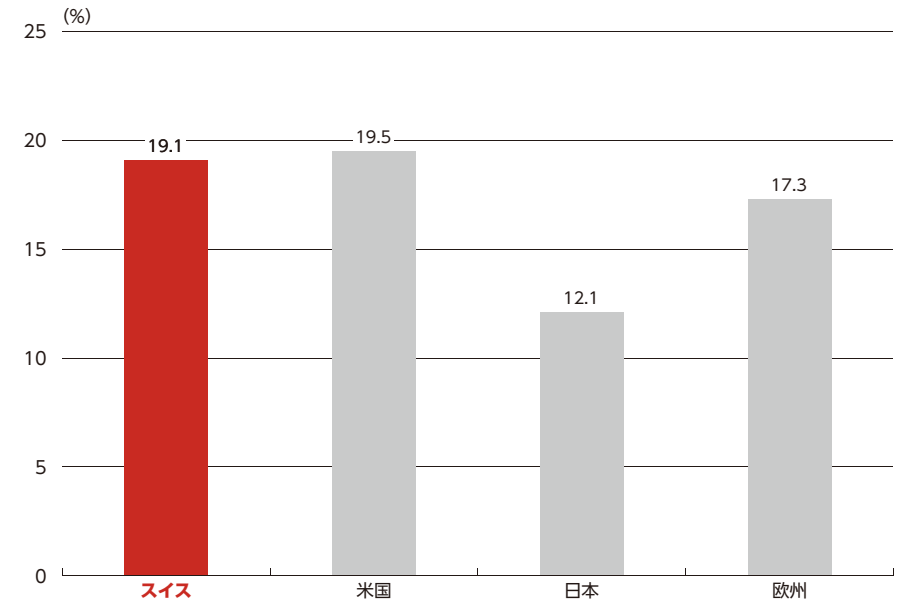
高い競争力を生み出すスイスの企業戦略

- スイス企業はイノベーションによる新たな市場の創出、マーケットの地理的な拡大、ブランド戦略等により、高いマーケットシェアを獲得しています。
- グローバル・リーダーとなったスイス企業は、価格決定力や競争力を高めることで、高水準の利益率を維持しています。

グローバル・リーダーが生まれる理由



各国企業のEBITDAマージン*



出所: Bloombergより作成

期間: 2020年~2024年の平均値

指数: スイス: スイスパフォーマンス指数、米国: S&P500指数、日本: TOPIX、欧州: ストック欧州600指数

*EBITDAマージン: EBITDAを売上高で割ったもので、売上高に対する収益性を図る指標です。EBITDAとはEarnings Before Interest, Taxes, Depreciation and Amortizationの略称で、利払い前、税引き前、償却前利益を指します。各国の会計基準の違いや税制の違いを踏まえ、実質的なキャッシュベースでの収益性を図る財務指標の一つです。

上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

世界のNo.1企業に投資

■当ファンドはマザーファンドを通じて安定した企業基盤があり、特定の分野で売上高等が世界No.1のリーディングカンパニーへ集中投資します。

マザーファンドの組入銘柄一覧

企業名 (32銘柄)	リーディング分野 (世界におけるマーケットシェア No.1)	
ジョージフィッシャー	配管システムおよび放電加工機	売上高 世界No.1
シーカ	建設用化学品	売上高 世界No.1
リンツ&シュプルングリー	プレミアム・チョコレート	売上高 世界No.1
ジボダン	フレーバー・フレグランスの開発・製造	売上高 世界No.1
ノバルティス	細胞療法	提供数 世界No.1
ABB	モーター、協働ロボット、オートメーション関連機器	売上高 世界No.1
ロシュ・ホールディング	癌腫瘍治療薬品	売上高 世界No.1
ネスレ	食品・飲料	売上高 世界No.1
フーバー&スナー	世界で唯一のデータセンター向け光スイッチ技術	提供数 世界No.1
ソノバ・ホールディング	補聴器	売上高 世界No.1
ロンザ・グループ	ライフサイエンス、バイオ医薬品	売上高 世界No.1
SKANグループ	アイソレーターおよびクリーンルーム機器	売上高 世界No.1
ブッハー・インダストリーズ	農業用機械、芝生育成機械、果実絞り器	売上高 世界No.1
パートナーズ・グループ・ホールディング	プライベート・インベストメント	残高 世界No.1
ブルクハルト・コンプレッション・ホールディング	レシプロコンプレッサーシステム	売上高 世界No.1
ギーベリッツ	水洗システム	売上高 世界No.1
スイス再保険	生命保険の再保険	残高 世界No.1
フィナンシエール・リシュモン	カルティエなどの高級ジュエリー	売上高 世界No.1
コメット・ホールディング	産業用据え置き型X線装置とプラズマ抑制技術	売上高 世界No.1
センシリオン・ホールディング	ガスおよび液体フローセンサー	売上高 世界No.1
アルコン	アイケア製品	売上高 世界No.1
サンド	バイオ後続品	売上高 世界No.1
SGS	品質検査・審査登録分野	売上高 世界No.1
バケム・ホールディング	ペプチド	売上高 世界No.1
インフィコン・ホールディング	計測器、センサー技術、制御システム	売上高 世界No.1
アクセラロン・インダストリーズ	高出力ターボチャージャー	売上高 世界No.1
ベリモ・ホールディング	換気・空調装置関連の駆動装置	売上高 世界No.1
ストローマン・ホールディング	歯科インプラント	売上高 世界No.1
ガルデルマ・グループ	注射美容、皮膚科スキンケア、皮膚科治療	売上高 世界No.1
UBSグループ	超富裕層向け資産運用サービス	残高 世界No.1
ドルマカバ・ホールディング	鍵の複製機	売上高 世界No.1
VATグループ	真空バルブ	売上高 世界No.1

出所:UBPインベストメンツ提供資料より作成、第58期決算日(2025年12月4日)現在

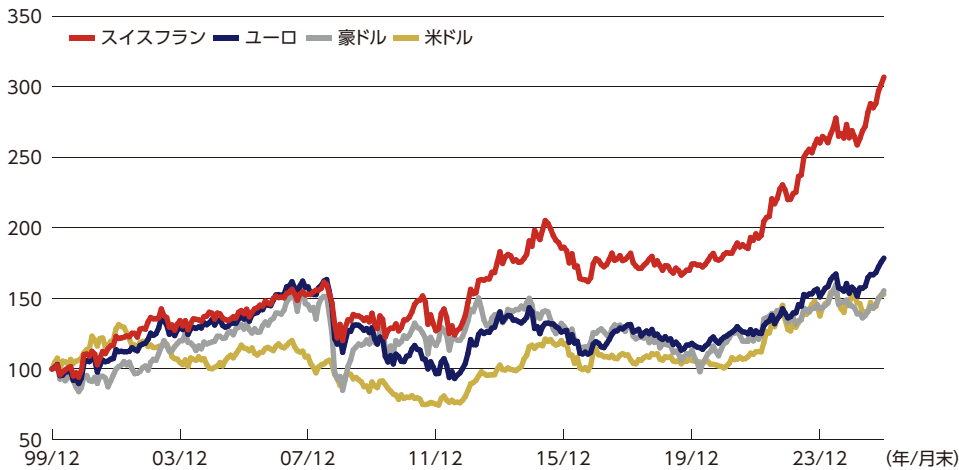
記載銘柄の推奨および個別銘柄の売買の推奨を行うものではありません。
上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

安定した通貨 —スイスフラン—

- スイスフランは信用力の高さから、長年にわたり「リスク回避資産」として投資家に好まれてきました。
- 特に2000年以降、スイスフランは対円で堅調に推移しています。

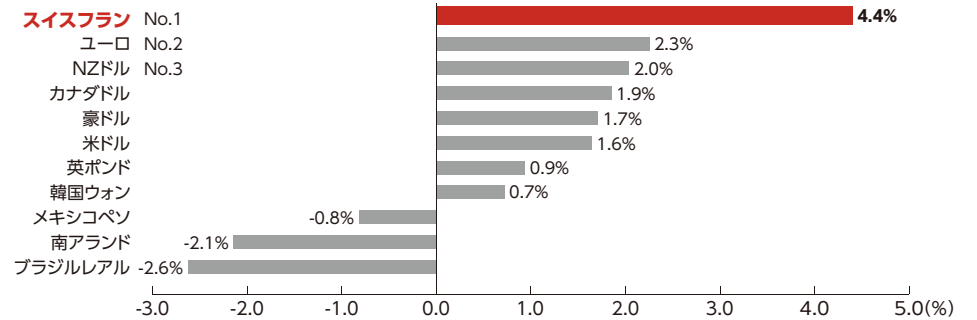
ブランド・マネー:スイスフラン

主要通貨のパフォーマンスの推移 (対円) (1999年12月末=100として指数化)



出所: Bloombergより作成
 期間: 1999年12月末～2025年12月末

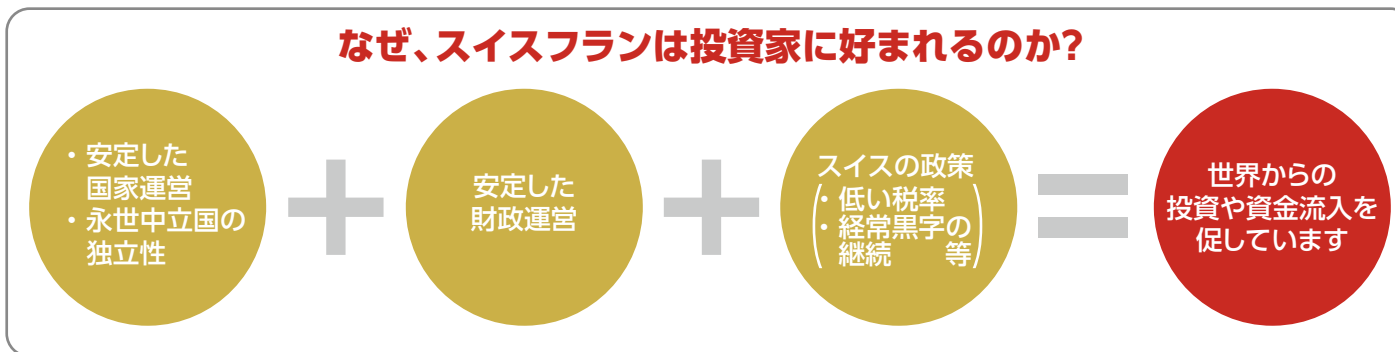
主要通貨の対円年率リターンランキング



	スイスフラン	ユーロ	豪ドル	米ドル
年率リターン	4.4%	2.3%	1.7%	1.6%
年率リスク	10.2%	10.9%	13.2%	9.7%

出所: Bloombergより作成
 期間: 1999年12月末～2025年12月末、年率リターン・年率リスク(標準偏差)は月次リターンを基に算出

なぜ、スイスフランは投資家に好まれるのか?

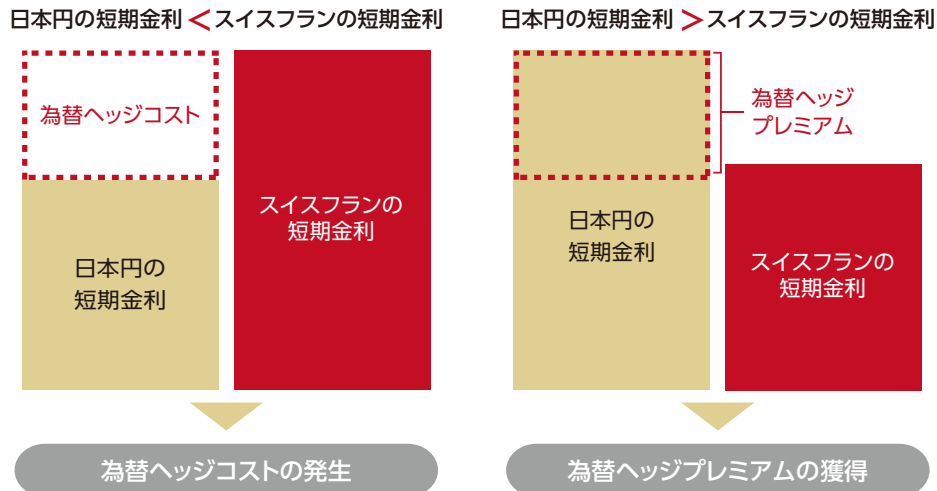


上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

スイス・グローバル・リーダー・ファンド(為替ヘッジあり)の場合 対円での為替変動リスクを低減

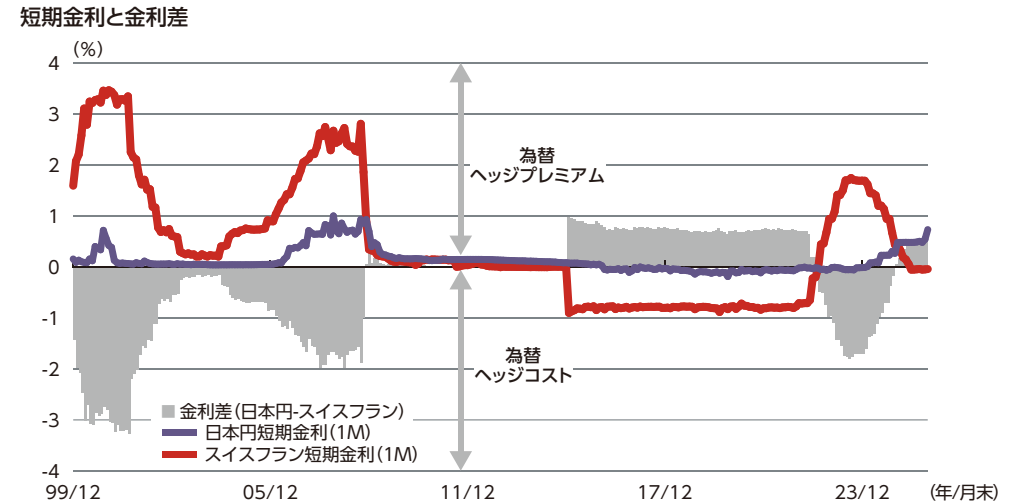
- 為替ヘッジとは、為替予約などを用いて将来の為替変動によるリスクを低減する取引です。
- 一般的に日本円よりスイスフランの短期金利が高い場合、日本円とスイスフランの金利差相当分のヘッジコストが、逆の場合はヘッジプレミアムが発生します。

為替ヘッジコストと為替ヘッジプレミアム



上記はイメージ図です。上記の為替ヘッジコスト/プレミアムは簡便法によるものです。
 為替ヘッジコスト/プレミアムの決定要因は上記に限定されるものではありません。
 為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を行います、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

スイスと日本の短期金利差の推移



上図は、あくまでも簡便法*によって算出された試算値であり、実際の値とは必ずしも一致しません。
 * 簡便法は、為替取引によるプレミアム/コストを、(日本円の短期金利)-(スイスフランの短期金利)で算出する方法です。ただし、当該通貨に対する市場参加者の期待や需給等により、その取引価格に反映する為替取引によるプレミアム/コストは、金利差から理論上期待される水準と大きく異なる場合があります。
 ※実際の運用においては、為替取引時の手数料相当額や運用上のコストが控除されます。
 ※スイスフラン短期金利:SARON1ヵ月、日本円短期金利:円スワップOIS1ヵ月、2021年12月末以前はスイスフラン、日本円ともにLIBOR1ヵ月
 出所:Bloombergより作成
 期間:1999年12月末~2025年12月末

上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

ファンドの特色

① スイス株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目指します。

- マザーファンド*におけるスイス株式等の運用指図に関する権限を、「ユニオン バンケール プリヴェ ユービーピー エスエー」に委託します。
※マザーファンドについては、下記「ファンドの仕組み」をご参照下さい。
- 株式の実質組入比率は、原則として高位を基本とします。なお、市況動向によっては、一時的に株式実質組入比率を引き下げることがあります。
- 資金動向、市況動向、残存信託期間その他特殊な状況等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

② 主に安定した企業基盤があり、特定分野で世界No. 1のリーディングカンパニーへ集中投資します。

- 世界No. 1のリーディングカンパニーとは「ユニオン バンケール プリヴェ ユービーピー エスエー」による調査・分析の結果、特定分野で売上高等がトップシェアを有すると認められる企業を指します。

③ 「スイス・グローバル・リーダー・ファンド」

実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

「スイス・グローバル・リーダー・ファンド(為替ヘッジあり)」

実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジにより、為替変動リスクを低減する運用を行います。

④ 原則、年4回決算を行います。

- 3、6、9、12月の各4日。当該日が休業日の場合は翌営業日。
- 分配対象収益が少額の場合は分配を行わないことがあります。

《分配の基本方針》

決算期におけるファンドの運用成果*をもとに、分配を行うことを目指すファンドです。

※運用成果には、インカム収入とキャピタルゲイン・ロスの両方を考慮します。

インカム収入とは株式の配当収入等、キャピタルゲイン・ロスとは値上がり益・値下がり損をいいます。

・ファンドに蓄積された過去の運用成果(分配原資)を加味する場合があります。

■ ファンドは特化型運用を行います。

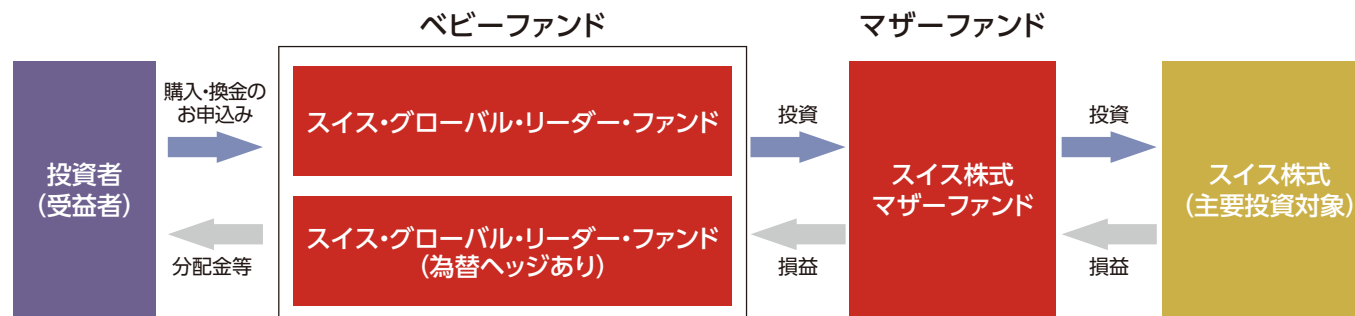
特化型運用ファンドとは、一般社団法人投資信託協会規則に定められたものであり、支配的な銘柄*が存在するファンドをいいます。

※支配的な銘柄とは、寄与度(投資対象候補銘柄の時価総額に占める一発行体あたりの時価総額の構成割合、またはベンチマークにおける一発行体あたりの構成割合。以下同じ。)が10%を超える、または超える可能性が高いものをいいます。

・各ファンドの実質的な投資対象であるスイス株式市場には、構成割合が10%を超える可能性の高い銘柄が存在します。そのため、各ファンドの運用にあたっては、同一銘柄を純資産総額の10%を超えて組入れる可能性があります。特定の銘柄への投資が集中することによって、その銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

＜ファンドの仕組み＞

各ファンドは「ファミリーファンド方式」により運用を行います。「ファミリーファンド方式」とは、複数のファンドを合同運用する仕組みで、受益者の資金をまとめて「ベビーファンド」(各ファンド)とし、「ベビーファンド」の資金の全部または一部を「マザーファンド」に投資することにより、実質的な運用は「マザーファンド」において行う仕組みです。



ユニオン バンケール プリヴェ ユービーピー エスエーについて

スイスには特定の分野で世界No. 1のリーディングカンパニーが多数存在しますが、これらスイス企業の株式への投資を通じ、スイス・欧州経済だけにとどまらないグローバル経済全体の成長を享受することを目指すファンドです。

株式発行通貨のスイスフランには、健全な財政と経常黒字等を背景とした「リスク回避資産」としての魅力もあります。世界の富裕層を顧客に持つスイスのプライベートバンク(UBP)が運用を担当しその銘柄選定能力を日本の皆さまにお届けします。



運用者からのメッセージ

スイス株式運用において25年以上の運用経験を持つプロフェッショナルとして、今後もグローバルに活躍するスイス企業の強みを生かした運用に尽力して参ります。

UBP
スイス・グローバル・リーダー・ファンド メインファンドマネージャー
エレノア テイラー ジョリドン



UNION BANCAIRE PRIVÉE

- UBP*はスイスを代表するプライベートバンクの一つ
- 富裕層向けサービス、資産運用サービス等を提供
- 1969年スイスで設立。現在、グローバルに31拠点を展開
- 運用資産額:1,717億スイスフラン(約31兆1,068億円*)
※1スイスフラン=181.17円(2025年6月末)にて換算
- 世界の個人投資家・機関投資家に様々な運用戦略を提供

2025年6月末現在

*UBPとは「ユニオン バンケール プリヴェ」:フランス語でプライベートバンキング企業という意味です。



ファンドの運用プロセス

- スイス証券取引所には、220銘柄のスイス企業が上場しており、その中で特定の分野で世界No. 1シェアを持つスイス企業は約80銘柄あります。
- 当ファンドでは、投下資本に対して効率的に高収益を生み出している企業で、その企業価値が株価に十分に反映されていない20～30銘柄程度に集中投資を行っていく方針です。



出所:Bloomberg, SIX Swiss Exchangeウェブサイト、UBPインベストメンツ提供資料より作成

*1 2025年12月末現在

*2 1米ドル=156.56円(2025年12月末)にて換算

ユニバースは状況に応じて変わりますのでご注意ください。また、ユニバースは全ての世界シェアNo. 1のスイス企業を網羅しているわけではありません。

上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

ファンドの主なリスクと留意点

《基準価額の変動要因》 くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)にて必ずご確認ください。

ファンドの基準価額は、組入れられる有価証券等の値動き等による影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属いたします。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。

ファンドの主なリスクは以下のとおりです。

※基準価額の変動要因は、以下に限定されるものではありません。

価格変動リスク	株式の価格は、国内外の政治・経済情勢、市況等の影響を受けて変動します。組入れている株式の価格の下落は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。
信用リスク	株式の価格は、発行体の財務状態、経営、業績等の悪化及びそれらに関する外部評価の悪化等により下落することがあります。組入れている株式の価格の下落は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また発行体の倒産や債務不履行等の場合は、株式の価値がなくなることもあり、ファンドの基準価額が大きく下落する場合があります。
流動性リスク	国内外の政治・経済情勢の急変、天災地変、発行体の財務状態の悪化等により、有価証券等の取引量が減少することがあります。この場合、ファンドにとって最適な時期や価格で、有価証券等を売買できないことがあり、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、取引量の著しい減少や取引停止の場合には、有価証券等の売買ができなかったり、想定外に不利な価格での売買となり、ファンドの基準価額が大きく下落する場合があります。
為替変動リスク	スイス・グローバル・リーダー・ファンド 外貨建資産の価格は、当該外貨と日本円との間の為替レートの変動の影響を受けて変動します。為替レートは、各国の政治・経済情勢、外国為替市場の需給、金利変動その他の要因により、短期間に大幅に変動することがあります。当該外貨の為替レートが、円高になった場合は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。 スイス・グローバル・リーダー・ファンド(為替ヘッジあり) 当ファンドは原則として、外貨建資産に対して、為替ヘッジを行います。全ての為替変動リスクを排除できるものではありません。また円金利よりも金利水準の高い通貨の為替ヘッジを行った場合、金利差に相当するヘッジコストが発生し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。
銘柄集中投資のリスク	ファンドの投資対象には、寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在することがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

《その他の留意点》

- ◆クーリングオフ制度(金融商品取引法第37条の6)の適用はありません。
- ◆大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、ファンドの基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込の受付が中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。
- ◆収益分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、収益分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。収益分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。投資者のファンドの購入価額によっては、収益分配金の一部又は全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、収益分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- ◆マザーファンドに投資する別のベビーファンドの追加設定・解約等により、当該マザーファンドにおいて売買等が生じた場合等には、ファンドの基準価額に影響を受ける場合があります。

一般社団法人投資信託協会の規則に定める一の者に対するエクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、35%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会の規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

お申込みメモ

くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)にて必ずご確認ください。

購入単位	販売会社が定める単位 ※詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社が定める単位 ※詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。
換金価額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した額
換金代金	換金請求受付日から起算して、原則として6営業日目からお支払いします。
申込不可日	スイス証券取引所の休業日においては、お申込みの受付ができません。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求を制限する場合があります。
繰上償還	次のいずれかの場合には、繰上償還させることがあります。 <ul style="list-style-type: none">● 受益権の残存口数が10億口を下回ることとなった場合● 繰上償還することが受益者のため有利であると認めるとき● やむを得ない事情が発生したとき
決算日	原則3月、6月、9月、12月の各4日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎決算時(年4回)、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ※分配金を受取る一般コースと、分配金を再投資する自動けいぞく投資コースがあります。販売会社によっては、どちらか一方のみのお取扱いとなる場合があります。 各コースのお取扱いにつきましては、販売会社までお問い合わせください。 ※分配対象収益が少額の場合は分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
信託期間	無期限 (設定日 「スイス・グローバル・リーダー・ファンド」:2011年7月29日/「スイス・グローバル・リーダー・ファンド(為替ヘッジあり)」:2016年12月21日)
課税関係	<ul style="list-style-type: none">● 課税上は株式投資信託として取扱われます。● 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」の適用対象となります。当ファンドは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。● 配当控除、益金不算入制度の適用はありません。

その他の項目につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

手数料等

くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)にて必ずご確認ください。

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に 3.85%(税抜3.5%) を上限として販売会社が定めた手数料率を乗じた額です。 ※詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。
信託財産留保額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額に 0.3% を乗じた額です。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対して 年率1.848%(税抜1.68%) を乗じた額です。 運用管理費用(信託報酬)は、毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期末または信託終了のときに、ファンドから支払われます。
その他の費用・ 手数料	以下の費用・手数料等が、ファンドから支払われます。 <ul style="list-style-type: none">・監査法人に支払うファンド監査にかかる費用・有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料・外国における有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用・信託財産に関する租税等 ※上記の費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

■当該手数料等の合計額については、投資者のみなさまがファンドを保有される期間、売買金額等に応じて異なりますので、表示することができません。

委託会社

SOMPOアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者(登録番号:関東財務局長(金商)第351号)であり、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。
信託財産の運用指図等を行います。
電話:0120-69-5432(受付時間:営業日の午前9時から午後5時) ホームページ・アドレス:<https://www.sompo-am.co.jp/>

受託会社

みずほ信託銀行株式会社

信託財産の保管等を行います。

販売会社

受益権の募集の取扱、販売、一部解約の実行の請求の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金、償還金および一部解約金の支払等を行います。
投資信託説明書(交付目論見書)の提供は、販売会社において行います。

当資料はSOMPOアセットマネジメント株式会社(以下、弊社)により作成された販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。投資信託は金融機関の預金と異なりリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本、分配金の保証はありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。当資料は弊社が信頼できると判断した各種情報に基づいて作成されておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。当資料に記載された意見等は予告なしに変更する場合があります。また、将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。投資信託の設定・運用は委託会社が行います。お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡ししますので、詳細をご確認の上、お客さま自身でご判断ください。なお、お客さまへの投資信託説明書(交付目論見書)の提供は、販売会社において行います。